



昭和小学 第3号

校長室便り
文責
生田 文明

ようこそ地域の先輩

十一日(金)、今年も昭和校区の八代市消防団第二十七分団の方々(十七名)を講師としてお迎えし、全校児童へ、集団行動や放水の指導をしていただきました。

集団行動では、まず、消防団員の方々に、号令のかけ方、横一列の並び方などのお手本を示していただきました。子どもたちは、団員の皆さんのきびきびとした行動に驚いていました。

その後、四つの班に分かれ、団員の皆さんから、直接指導していただきました。最初は、声も小さく、もたもたしていてもうまく並ぶことができませんでしたが、練習を重ねるうちに少しずつコツをつかみ、十五分後に行った成果発表会では、見違えるほど上手に整列することができるようになりました。

また、地域の方々の命と財産を守る消防団の役割についても、分かりやすくお話しいただき、さらに、実際に放水体験もさせていただきました。

「ぼくは、放水体験が一番に残りました。ホースを持った瞬間とても重かったです。訓練の様子を



見て、動きがキビキビしてとてもすごかったです。運動会では、そのキビキビとした動きをまねたいです。そして、消防団に入りたいです。本当にありがとうございます。」
(児童の感想より)

運動会を前に毎年行っている特別授業。地域の方々に支えられて、安心・安全な日々の生活ができていることを子どもたちは学ぶことができたようです。また、将来、地域住民として、地域活動に参加することの大切さも学ぶ機会となったようです。

二十七分団の皆さん、地域の先輩として、子どもたちへのご指導、誠にありがとうございました。

なかよしタイム

子どもたちの、社会性やコミュニケーション能力を高めるために水曜日の朝の時間に全校で実施しているなかよしタイム。今年度は、より効果を上げるために、目的に応じて学級でしたり、低高学年に分かれました。また、市生涯学習課 社会教育指導員の岡田先生、蒲生先生にも来校いただき、子どもたちへの指導のポイントを教えてくださいながら、なかよしタイムの活動内容の充実を図っています。



十六日(水)は、岡田先生の指導の下、まず、全校でハンカチ遊びや金持ちジャンケンをしました。次に、低・高学年に分かれ、一、二年生は、新聞列車・ペア探し、三年生以上は、誕生月で集まったり、「無人島SOS」の活動をしたりしました。勝敗より交流、互いのつながり、気づきや感想、譲り合い等を意識して行うことで、社会性やコミュニケーション能力を高める活動となりました。たくさんの会話が生まれ、笑顔あふれる時間となりました。

松の芽摘み

十二日(土)、PTA奉仕作業として、校庭の松の芽摘み、除草、生け垣の選定、学校周辺の清掃活動(空き缶拾い、草取りなど)を児童・保護者・教職員約七十名で行いました。

午前六時から開始し、約二時間程度で、学校や学校周辺が見違えるほどきれいになり、二十七日の運動会へ向けての環境整備にもなりました。

早朝からご協力いただきました保護者の皆様、子どもたち、誠にありがとうございました。

